

障害のある人と援助者でつくる日本グループホーム学会
第11回日本グループホーム学会 京都大会
プレ集会

「地域に居場所を創り出す支援力」 ～行動障がいのある方の暮らしを考える～

2014年4月より、グループホームが一元化となる制度改正がなされました。この背景には、グループホーム入居者の高齢化・重度化があるといわれます。いわゆる「介護のニーズがうまれてきた方々」への対応のために、ホームヘルパーの活用をグループホームにおいても図ろうというものです。しかしながら、行動障害を伴う方々、医療的ケアの必要な方々は、今回の改正でヘルパーを利用するだけでは量的にも十分な支えが難しいことが分かっています。どんなに障害が重くても、地域で生活する選択肢の一つにグループホームはなり得るのか。今回は季刊グループホームに寄稿くださった岸田氏のご講演と出発(たびだち)のなかまの会からの実践報告をうかがい、一緒に課題を掘り下げたいと思います。

本集会は、2015年7月11日～12日に予定されている、グループホーム学会全国大会 in 京都に向けた、プレ集会として企画しました。皆さまのご参加をお待ちしております。

日時

2015年 **2月22日**(日)
受付 13:00～ 開会 13:30

参加費

2,000円 (当日支払)

会場

京都テルサ東館2階中会議室
(京都府民総合交流プラザ)
京都市南区新町通九条下ル

- JR京都駅(八条口西口)より南へ徒歩約15分
- 近鉄東寺駅より東へ徒歩約5分
- 地下鉄九条駅④番出口より西へ徒歩約5分
- 市バス九条車庫南へすぐ



申し込み

裏面申し込み記載の上、切らずにFAXでお申し込み下さい。
70名 (先着順、申し込み多数の場合お断りする事がございます。)

主催
共催

障害のある人と援助者でつくる日本グループホーム学会
グループホーム学会京都大会実行委員会

切らずにこのままFAXにてお申し込みください。FAX番号 075-602-1724
 ※お手数ですが、申込人数分コピーし、御一人様、一枚毎にお申し込みください。

日本グループホーム学会京都大会プレ集会 お申し込み			
(フリガナ) 氏名		(どちらかに○を)	会 員 ・ 非 会 員
住 所	〒 -	連絡先電話	- -
所 属		お申込み確認のFAXを返信しますので FAX番号を記載してください。	- -

プログラム

- 13:00 受付開始
- 13:30 開 会 ・ 挨 拶
- 13:40 基調講演「慌てず焦らず諦めず地域に居場所は必ずある」
 ～その行動とどう付き合うかが支援のポイント～
 講師 岸田 隆 氏 (社会福祉法人森と木)
- 平成4年3月 信州大学教育学部特殊教育学科卒
 平成4年4月 長野県飯山養護学校
 平成4年9月 クラフトショップココリコ宣伝マン (障害のある人の作品のセレクトショップ)
 平成5年4月 知的障害者更生施設長峯学園指導員
 平成7年8月 家族支援センターワンズハウス所長
 平成15年4月 社会福祉法人ながの障害者生活支援協会総括センター長 (現在に至る)
 平成25年4月 長野圏域発達障がいサポート・マネージャー (現在に至る)
- 15:15 実践報告 石井 香里 氏 (NPO法人 出発(たびだち)のなかまの会)
 出発(たびだち)のなかまの会では、個別の希望にそったケアが出来るように当事者一人一人が個人将来計画を立て、それを日常生活に組み込んでおり、当事者が地域での生活をする自信と力を付けながら暮らしています。
 また個人個人のニーズに合わせた支援ができるようにアクティブサポートを導入し、支援者側のスキルアップにも努めています。年間での行事・外出・個人旅行なども計画しています。
- 16:10 まとめ・質疑応答
 (助言者 岸田 隆 氏)
- 16:50 閉 会

日本グループホーム学会とは

障害があってもなくても、自分らしく生きたいと誰もが願っています。誰かに支えられて、誰もが生きています。誰が援助する人で、誰が援助される人なのでしょうか。また、自立するってどんなことなのでしょう。障害のある人の「グループホーム」をキーワードにして、みんなで考えていきたい。そんな思いが集まって「日本グループホーム学会」は産声を上げました。障害のある人の応援団を全国に広げながら、私達一人ひとりの「暮らし」を考え、研究する場にしたいと思います。障害のある人、本人をいつも中心に見つめる目をもちながら、実践に始まり実践に帰る研究をともしませんか？

●活動目的

- 1) 質の高い援助を提供するグループホームを全国各地に確実に増やす。
- 2) グループホーム間の情報交換や支援に関する研究を進める
- 3) 現在あるグループホームを支援する仕組みをつくり、運営の不安定さを改善していく。
- 4) 国や自治体に対して、現場からの政策提言や意見を発信する。
- 5) 社会に対して、障害者の地域生活を理解してもらうための情報を発信する。

●活動内容

- 1) 「季刊グループホーム」の発刊
- 2) グループホーム研究大会(年に1回)の開催
- 3) 議会や行政に対する政策提言、メディアを通しての社会的アピール
- 4) メーリングリストによる情報交換、現場スタッフ(世話人)や運営者対象の研修や相談業務

■入会案内 個人会員。一般会員登録(年会費4,000円)季刊雑誌4冊/年送付。
 研究報告書が必要な方は、情報会員(年会費6,000円)としても登録できます。会員限定のメーリングリストで質問等、会員相互の情報交換をすることもできます。ぜひご入会ください。
 ホームページから入会手続きができます。http://www.jgh-gakkai.com/

<申し込み・お問合せ> 障がい者デイサービスベテスダの家 ☎075-602-1724
申し込みFAX番号 075-602-1724